
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより第113号(通巻第180号)

2012年11月30日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen-ml@yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

■教育ボランティア報告会のご案内

平成24年度教育ボランティア報告会を下記のとおり開催いたします。「社会参加実習」の単位取得希望者は、出席することが原則となっています。(単位取得のための1時間にカウントされます) 単位取得希望者以外にも、多くの学生の皆さんの御参加をお待ちしています。

- ・日程 12月5日(水) 14:40~14:55 受付
15:00~16:20 報告会

・場所 本学N号館 N-11・N-12教室(1階)

・内容 教育ボランティア活動体験発表・グループ協議・指導講評

※教育ボランティア学生運営委員会では、委員を募集しています。教育ボランティア活動に興味があり、運営してみたいという学生は、L号館1階教職支援室へ連絡してください。

■山梨県教育委員会「第2回 教育相談活動研修会」の予定

(山梨大学戦略的プロジェクト経費地域連携事業支援プロジェクト)

山梨県教育委員会主催の「第2回教育相談活動研修会」が12月11日(火)、県教育センターにおいて開催されます。県内教育相談活動関係者が一同に会し、山梨県の子ども支援について意見交換が行われる予定です。附属教育実践総合センターからは谷口明子教授が出席し、相談員の力量形成を目的とした研修会講師として「不登校・発達障害ときょうだいの問題」のタイトルで講演を行います。

■授業支援システムとしての Moodle 説明会(第1回)のご案内(12/14)

Moodle は、インターネットを介して授業用の教材や学習材を提供する e ラーニングシステムです。その機能として、教員が Word・PowerPoint・PDF・ビデオなどのファイルを掲示できる「リソース」、多肢選択問題や記述問題などを出題できる「小テスト」、学生がレポートなどのファイルをアップロードできる「課題」、および、ディスカッションや相互交流の場となる「フォーラム」や「チャット」などがあり、授業における活動・協調・省察を支援・促進します。これらにより、Moodle を 100% のオンラインコースとして利用することもできますし、対面教育の補助として利用することもできます。

本説明会では、10月9日に開催されました「Moodle 講習会」を受けまして、2013年4月から導入予定の Moodle 2.3 をもとに、より応用的な利用方法や講義ビデオの作成方法について説明します。これまでの Moodle 1.9 をご利用の皆様にも新機能をご確認いただくよい機会かと存じますし、これから Moodle をご利用になる皆様にも Moodle が提供するさまざまな機能をご承知いただくよい機会かと存

じます。どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時：2012年12月14日（金）16:30～18:00
- 会場：第一実習室（情報メディア館 2階）
- 説明担当者：
 - 佐藤真久（Eラーニングプロジェクト委員会委員長，工学部基礎教育センター）
 - 小俣昌樹（Eラーニングプロジェクト委員会委員，工学部コンピュータ理工学科）
- 内容
 - <第1部>
 - ・ Moodle 2.3 のファイルの管理方法
 - ・ Moodle 1.9 から Moodle 2.3 へのコースデータの移行方法
 - ・ Moodle 2.3 の Conditional Activities 機能
(コンテンツごとに利用制限や活動完了条件を設定する機能です。)
 - ・ Moodle2.3 での STACK による数式を用いたテストの作成
 - <第2部>
 - ・ 講義ビデオファイルの作成方法
 - ・ 講義ビデオファイルの編集方法
 - ・ 講義ビデオファイルの掲示方法

なお、この度、文部科学省平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、千歳科学技術大学を代表校として、山梨大学を含む8大学等で申請しておりました「学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進」が採択されました。この中の学修支援や到達度テストのためのeラーニングシステムとしましても、Moodleの利用を検討しております。

○参加対象者について：この説明会は教員をはじめ職員や学生も受講できます。

●参加申し込み

説明会<12月14日（金）>に参加します。

- ・ 所属：
- ・ 氏名：

※申し込みは、教育実践総合センター事務室 望月（e-mail：jissen@ml.yamanashi.ac.jp）へお願いいたします。

※事前申し込みがなくても受講できますが、会場の準備等がありますので、できれば事前に申し込んでください。

■ 日本教育大学協会 全国教育実習研究部門 総会・研究協議会及び研究集会報告

過日、鹿児島県鹿児島市内において開催された標記研究会に、附属教育実践研究指導センターの菰原桂教授が出席しました。

鹿児島大学教育学部において、2012年10月5日（金）に開かれた平成24年度日本教育大学協会全国教育実習研究部門第26回総会・研究協議会には、36大学・65名の教職員が参加し、教育実習参

加要件検討に関する取組，質の高い教育実習に向けた支援方策，初年次教育実習プログラムの成果と課題，学部で支える教育実践科目等，7件の発表がありました。

かごしま県民交流センターにおいて，2012年10月6日(土)に開かれた日本教育大学協会研究集会には，約300名の教職員が参加しました。午前中の文部科学省高等教育局長の板東久美子氏による「これからの教員養成に求められるもの」と題する講演と「これからの教員養成の在り方—中教審の議論をどう読み解くか—」をテーマとするシンポジウムに引き続き，午後は，「教員養成カリキュラムの改革とその具体的取り組み」「修士段階での教員養成の在り方」「附属学校の改革と実践の動向」「教員養成課程で学ぶこと—学生，大学院生，現職大学院生，新人教員から—」「自由課題」の分科会ごとに，「教職実践演習」を含む教育実習カリキュラムや教職大学院における教育専門職養成の動向に関する研究協議を行いました。

上記の研究集会の予稿集，発表資料等は，教職大学院での回覧後，教育実践総合センター事務室(J424)で閲覧できるようになります。関心をもたれた方はお問い合わせください。

なお，平成25年度の本部門総会・研究協議会及び研究集会は北海道教育大学北見校にて開催される予定です。

■ 教育実践総合センター研究紀要編集委員会（11/14）報告

センター研究紀要編集委員会が以下のように開催され，投稿された論文18本の掲載が決定されました。現在業者によるWeb/pdf編集作業が行われており，平成25年3月31日には次号が発行される予定です。

日 時：平成24年11月14日（水）10：30～12：00

場 所：B会議室。

出席者：時友委員長・古屋・澤田・菘原・谷口・成田・早川の各委員。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室(L-428)をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては，事前に教育実践総合センター事務室(J号館4F)にて空き状況を確認の上，ご予約ください。鍵については事務室にお尋ねください。利用された場合には，相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は， <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。